

インスリン Insulin 100 Scientific Symposium

発見100周年 記念シンポジウム

「今、あらためて糖尿病を問い直す」ステートメント

2021年11月14日は、インスリン発見100周年を機に糖尿病学を志すものにとって「糖尿病とは何か？」を問い直す、素晴らしい機会となりました。皆様の多くのご意見を頂いて、今後の100年を見据えた糖尿病学の目指すべき方向性が明らかとなってきました。

- ①インスリン：血糖コントロールを正常化するために、生理的で諸臓器に適時・的確に作用するインスリン・インスリンデリバリーを探求します。
- ②インスリン抵抗性：個々の臓器や細胞におけるインスリンの糖代謝を含む多面的作用と多臓器クロストークを解明し、糖尿病治療の障壁となるインスリン抵抗性を解除する治療を探求します。
- ③糖尿病：合併症発症を指標とした現在の糖尿病診断の概念をさらに発展させ、糖尿病の病態をより正確に反映する診断指標、個々の合併症・併存症の予防・管理に向けた治療目標の開発を行います。
- ④合併症：個々の合併症・併存症の発症メカニズムを解明し、各々の予防・進展抑制に必要な治療法・治療目標を確立し、その克服を目指します。

我々、糖尿病学を目指すものは、100年後の2121年「インスリン発見200周年」を記念している社会から見て、2021年が「糖尿病」概念のパラダイムシフト元年として歴史に刻まれたメモリアルイヤーになっていることを確信します。これまで100年のレガシーを基盤として、糖尿病研究・診療・社会貢献をさらに加速させ、糖尿病とその合併症・併存症を制圧することを誓います。